

年間第 6 主日

ふくいん ルカ 6. 17, 20~26

そのとき、イエスは12にんといっしょにやまをおりて、たいらなところにおたちになった。おおぜいのでしとおびたしいみんしゅうが、ユダやゼンとエルサレムから、また、テイルスやシドンのかいがんちほうからきていた。

さて、イエスはめをあげてしたちをみていわれた。

「まずしいひとびとは、さいわいである、かみのくにはあなたがたのものである。いま、うえていているひとびとは、さいわいである、あなたがたはみたされる。いまないているひとびとは、さいわいである、あなたがたはわらうようになる。ひとびとにくまれるとき、また、ひとのこのためにおいだされ、ののしられおめいをきらされるとき、あなたがたはさいわいである。そのひには、よろこびおどりなさい。てんにはおおきなむくいがある。このひとびとのせんぞも、よげんしゃたちにおなじことをしたのである。

しかし、とんでいるあなたがたは、ふこうである。あなたがたはもうなぐさめをうけている。いままんぷくしているひとびと、あなたがたは、ふこうである。いまわらっているひとびとは、ふこうである、あなたがたはかなしみなくようになる。

すべてのひとにほめられるとき、あなたがたはふこうである。このひとびとのせんぞも、にせよげんしゃにおなじことをしたのである。」

きょうのふくいんしよは、イエスさまのゆうめいなおなはしで、なんかいもきいたことがあるとおもいます。りかひできないところがあって、みんなにどうつたえたらいいかまよってしまいました。しょうじきにいうと、リーダーはどこまでじぶんもわかっているのかと、いいきかせました。すこしわかったことをみんなにわかちあいたいきもちです。

20 せつでイエスさまは、まずしいひと、うえていているひとなどにこれらのひとたちは「さいわいです」といっておられます。

かみさまはかならずごじぶんのめぐみのちからをあらわしてくださる。くるしんでいるひとたちこそ、かみさまはもっともたいせつにおもっておられるひとたちなのです。まずしいひとはじぶんじんのうちにみずからすくいもちからをもっていないので、イエスのよいしらせをうけいれるところがあります。きくみみもあります、すくいをこころのそこからまちのぞんでいるからです。じぶんのうちによりたのむのもたないでいるから、かみさまのたすけをたのむほかはないからです。

はんたいに、おかねいっぱいもっているひと、たべものたくさんもっているひと、まんぞくしているひとたちのことは、イエスさまはふこうであるといっておられます。かんがえてみたら、わたしたちはどれほどめぐまれていることでしょうか。いくらたくさんのもやおかねをもっている、じぶんのことしかかんがえてないひと、こまっているひと

がいてもたすけようとしないひとは、しあわせといえるのでしょうか。ものをもつことはわるいことではないのですが、もっているものにこころをうばわれてしまいます。よくばりになったり、いじわるになったり、じぶんだけいちばんになりたいなどと、かみさまののぞみがどこにあるかをとわすれてしまうひとのことをしあわせではないとイエスさまがいっておられます。

じぶんはどこにはいますか。イエスさまにしんらいして、たすけをたのむか、またはじぶんだけでまんぞくしていますか。かんがえてみましょうね。



ぬいえ

